

2018年度社会福祉学科卒業論文題目一覧

氏 名	卒 業 論 文 題 目
加藤 志 織	妊娠・出産包括支援事業の全国展開に向けた課題整理と提言—神奈川県横浜市の母子保健の取り組み分析を通して—
田 中 萌	発達障害のある女性に特有の生活上の困難さに関する研究
中 村 愛	親亡き後の長期・年長ひきこもり支援に関する研究
鵜飼 里 奈	超高齢化社会における町内会
永井 拓 海	喫茶店の歴史と今後
永田 結芽子	出生前診断で妊婦が納得のいく決断をするために
丸之内 香 苗	なぜロンドンでマーケットが発展したのか
久賀 麻 祐	団地に秘められた秘められた可能性—ヨーロッパの事例をもとに—
榊原 志 保	買い物難民対策のあり方—全国の取り組みから—
朝倉 達 也	精神障害者家族の位置づけと今後の支援の在り方に関する考察—精神障害者関連法規の変遷と家族に対する支援の現状から—
川合 君 佳	40・50代の中年未婚者とその親からなる世帯への「生活援助」—日中独居対策と介護離職対策として—
栗木 麻 衣	学習支援事業の保護者に対する支援の実態と望まれる実施体制
鈴木 優美子	奨学金問題について「返還」に焦点をあてて考える
鈴木 良 乃	学校教育における障害者福祉に関する学習について考える—学習指導要領及び教科書を通して—
湯 尋	中国人留学生が卒業後に介護現場で働くための方法—介護福祉士とビザの取得をめぐる問題—
平木 望 瑞	福祉避難所運営の課題と求められる機能—スフィア基準と一般避難所の比較を踏まえて—
山 郷 擁 子	「入口支援」の在り方の考察
横山 菜奈美	新たなセーフティネット住宅制度の現状と課題—新たな制度は高齢者の住み替えにおける課題に対応できるのか—
太田 晴 也	アール・ブリュットをいかに捉えるか—福祉分野で適切に活用するために—
大谷 和	性格分類を用いたコミュニケーションの有用性
神谷 拓	現代日本における非定型うつ病—背景には何があるのか—
鈴木 陵 馬	うつ病と私たち
永井 茜	いい子が抱えるニーズとそれに対する提言—少年非行に着目して—
近藤 陸 斗	高齢者介護における介護者の課題とこれから—介護専門職による虐待を中心に—
小畑 美 晴	日常生活自立支援事業の運営上の課題に関する—考察—愛知県内の「運用体制」に着目して—
加藤 知 宏	子どもの貧困とファイナンシャルプランによる金融教育について
神園 大 輝	日本の医療を支える保険とは何か—公的保険と民間保険の機能分担による関係性再構築と低所得者医療への着目—
新海 直 也	無料低額宿泊所の在り方に関する—考察—その機能に着目して—
佐々 瑠 梨	人口減少社会における結婚のあり方
春田 沙 樹	入れ墨が与える影響
藤村 穂乃実	終末期医療における患者の意思を尊重した医療体制づくり
加藤 瑠 夏	労働のあるべき姿とはどのようなものか
成田 茉 由	本を読むと頭が良くなるのは本当か？

青木 春 菜	学校給食の目指すべき形
石川 廉	大学生の利己的動機に基づいたボランティア参加と学生ボランティア支援体制の在り方
曾我部 達也	第一印象が日常生活に及ぼす影響
北川 聖 奈	若者の地域間移動と地元志向
林 晃 司	人口減少社会における中山間地域の地域づくりに必要な視点
石川 佳 苗	若者に対する子育て支援の現状と今後の方策に関する研究—大学生への子育て意識に関するアンケート調査を通して—
菅野 梓	児童虐待対応における児童相談所の現状と課題克服のために必要なこと
田中 聡 美	貧困世帯で育つ子どもの不利益の現状と対策に関する研究
松井 和佳奈	童養護施設職員のソーシャルワーク実践における専門性に関する研究—職員へのインタビュー調査を通して—
村松 明 奈	要保護児童対策地域協議会の現状と今後のあり方に関する研究—なごやこどもサポート連絡協議会の現状分析を通して—
岡本 真 緒	脳死と臓器移植
森 晴 祐	『男らしさ』の見直し—性別役割分担の意識のない社会に向けて—
坂 知 美	子ども食堂の現状と今後のあり方—飯田市の子ども食堂への訪問調査を通して—
小林 綺 花	大学生の結婚観—大学生へのインタビュー調査を通して—
西野 麻里奈	日本の城郭におけるバリアフリー—中部地方の3つの城郭に焦点を当てて—
倉地 真 帆	食事の場面におけるQOLの向上—ユニバーサルデザインフードについて考える—
中根 千 裕	岡崎市におけるサロン活動—都市部と山間過疎地域における比較—
板倉 未 波	北名古屋市における地域回想法の取り組み—北名古屋市職員へのインタビューを通して—
綿野 真 輝	自閉症のAさんの視点から発達障害の人への支援を考える—Aさんが感じている世界とは—